

前衛4人訪談 1969-1974 かみ派の美術

●出品作家

松澤 宥

安部ビート

あさいますお

杉村俊明

春原敏之

金子昭二

青木靖恭

水上 旬

藤原和通

田中孝道

芦澤泰偉

宿沢育夫

栗山邦正

古沢 宅

小林起一

赤土 類

辻村和子

鈴木裕子

田中三蔵

河津 紘

ヨシダ・ミエ

池田龍雄

林 三從

斎藤俊徳

他

2026.1/31 SAT—3/1 SUN

9:00—17:00(入館は16:30まで) 休館日 | 2/21月、9月、16月、24日

入館料 | 一般500(400)円 大学生・75歳以上300(200)円 高校生以下又は18歳未満無料

※() 内は10名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料



Designed by Nakazawa Sadayuki

「前衛4人参加者集合写真 1971年」

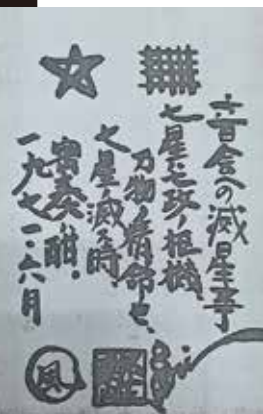
長野県伊那文化会館 美術展示ホール

〒396-0026 伊那市西町5776(春日公園内) TEL.0265-73-8822 <https://inabun.jp/>

主催 | 長野県伊那文化会館 共催 | 長野県、長野県教育委員会、伊那市、伊那市教育委員会 共同監修 | 一般社団法人戦後芸術資料保存 特別協力 | 一般財団法人松澤宥ブサイの部屋



金子昭二「白い思想、その旅立ち宣言」1971年 撮影：楠野裕治



栗山邦正「音会への滅星事」1971年 ©若山文庫



田中孝道「魔胎ストーン・エンタ行」魔胎実例」1971年

展覧会関連イベント

●トークイベント

「諏訪につどった前衛たち—芦澤泰偉さんに聞く」

2026.2/21【土】14:30-15:30 長野県伊那文化会館 美術展示ホール内

話し手 | 芦澤泰偉(装丁家/出品作家)

聞き手 | 細谷修平(一般社団法人戦後芸術資料保存/和光大学客員研究員)、
木内真由美(長野県伊那文化会館)

●事前申込不要 ●参加無料(入場料は必要)

●学芸員によるギャラリートัวร์

当館学芸員と会話をしながら、展覧会を鑑賞します。お気軽にご参加下さい。

2026.2/7【土】14:00~

1960年代後半、日本社会では制度や価値観への疑問が高まり、美術や芸術の世界でも表現とその制度のあり方が大きく揺らぎ始めました。長野県諏訪地域には、絵画や彫刻といった物質的な作品から距離をとり、「ことば」や「行為」を通じて哲学的に社会と向き合おうとする前衛たちが集いました。

当時、下諏訪町には観念美術を提唱していた松澤有^{ゆづか}がおり、全国的にも注目されていました。そのため、これまで彼らの活動は松澤有を中心に語られてきましたが、本展では、個々の作家やイベントに着目し、残された作品や写真、書簡、資料などを手がかりに、それぞれの表現や関係性を紐解きます。諏訪の豊かな自然と文化に影響を受けて彼らが試みた表現をご覧いただける貴重な機会となります。

諏訪につどった 1969-1974 前衛たち かみ派の美術

かみ派の「かみ」は紙です。非物質的な芸術を目指した彼らは、表現や記録の媒体として「紙」を使いました。「かみ派」は当時彼らを示すために一部の関係者によって総称として使われていた言葉です。彼らの作品に込められた思想や交流の軌跡を感じていただければ幸いです。



松澤有「荒野におけるアンデパンダン'64展」1964年

荒野におけるアンデパンダン'64展

(物質を信ずるなかれ 感覚を信ずるなかれ 眼を信ずるなかれ)

会場 長野県七島八島高原ツンドラ地帯

会期 12月3日未明~12月9日未明

搬入搬出日 過去 現在 未来

出品手数料 無

出品方法

あなたの出品物はあなたの手元に置いて それから発する無形のもの(虚の作品)を会場まで届けて下さい どんな方法でも結構 恐らく会場は沢山の異様なニルの無形のものに溢れて 時ならぬ賑わいを呈するでしょう 出品希望者は直ちに有形無形の連絡を始めて下さい

連絡先 長野県下諏訪町5370

虚空間状況探知センター

長野県伊那文化会館

<https://inabun.jp/>

〒396-0026 伊那市西町5776(春日公園内) TEL.0265-73-8822

交通案内=JR飯田線「伊那市」駅下車から徒歩約20分、タクシー約5分。

中央自動車道「伊那」インターより約15分、「駒ヶ根」インターより約25分。

